

第1回 川でつながる発表会

更新:2005年03月24日

第1回「川でつながる発表会」

小学生から大学生まで川・水に関する発表をして交流！

実施日時

平成17年3月5日(土)

参加人数

約100名

新河岸川流域川づくり連絡会では、住民の川への親しみの啓発、市民団体間との連携を深め、市民とのコミュニケーションの活性化等を目的にして各種の活動を行っています。

その一環として、流域内の小学生から大学生までが行う、川や水、環境を対象にした様々な学習・研究、ボランティア等の活動の成果を発表して、意見を交換するとともに、交流が生まれる場となることを期待して、第1回「川でつながる発表会」を開催しました。

発表校および発表テーマは以下のとおりです。

発表会では、様々なグループの間で熱心な情報・意見の交換がなされ、川をきっかけに新たな交流も生まれています。

発表校	発表テーマ
朝霞市立朝霞第三小学校	黒目川の歴史について 黒目川の水はなぜ透明なのか
川越市立寺尾小学校	わたしたちの新河岸川 ～わたしたちにできること～
志木市立志木小学校	環境教育 柳瀬川の自然
所沢市立牛沼小学校	東川の環境について
朝霞市立朝霞第五中学校	新河岸川と荒川の環境は今
和光市立第二中学校	川が創る豊かな生態系
自由学園男子部高等科	校内を流れる立野川の調査
埼玉県立所沢西高等学校	砂川流域水質追調査(化学的水質分析及び指標生物による水質判定)
東京理科大学	これからの市民参加の川づくりを考える ～白子川整備検討会を通じて～
早稲田大学	湿地保全の意義と活動紹介

■小学校



朝霞市立朝霞第三小学校は、昔の黒目川の様子や、黒目川に関する昔話などについて発表しました。



川越市立寺尾小学校は、新河岸川の汚れの原因と対策について発表しました。市民団体代表へのインタビューも実施しています。



志木市立志木小学校は、柳瀬川の自然について発表しました。エコシティ志木の協力を得ているとのことでした。



所沢市立牛沼小学校は、東川の環境について発表しました。実地調査やインタビュー、書籍やネット検索など、熱心に調べている様子が伝わりました。

■中学校



朝霞市立朝霞第五中学校は、河岸川と荒川の現状について発表しました。身近な川の変化や現状について知りたいの思いから調査を実施しているとのことでした。



和光市立第二中学校は、ビオトープの取り組み等を発表しました。学校に造ったビオトープ池には様々な動植物が見られるようです。なお、発表の後半にはBGMも活用していました。

■高校



自由学園男子部高等科は、校内を流れている立野川についての発表しました。季節による水量の変動が大きいようでした。



埼玉県立所沢西高等学校は、砂川流域の水質調査について発表しました。今後も砂川の水質データを蓄積していきたいとのことでした。

■大学



東京理科大学からは、白子川への親水護岸の提案や市民参加の川づくりへの問題提起などがありました。



早稲田大学は、所沢キャンパスにある湿地保全の取り組みについて発表しました。写真は傍聴者との質疑応答の様子です。

発表会の最後に表彰式を行い、全ての参加校に表彰状が授与されました。発表者の程良い緊張感と傍聴者のつくるアットホームな雰囲気の中で、とても良い時間が共有できました。